



音楽会その後に

先週31日(木)の音楽会は、午前中に行われましたが、その後の動きを紹介します。体育館にあった楽器や椅子やひな壇は、5・6年生の手で片付けられました。低学年のため、学校のためにと動く姿は素晴らしかったです。6年生の子供に聞くと、「毎年6年生がやっているのだから、今年ぼくたちができて、最高学年になったんだと実感しています。」と答え、5年生の子供に聞くと、「私たちがこうやってみんなのために準備や片づけができて、役に立っていると思うと嬉しいです。」と答えてくれました。

音楽会後の6年生の振り返りを紹介します。

🎭👁️ この一週間でたくさん練習できました。家や学校で友達と練習をしました。憧れられるような音楽会にできました。この一週間だけではなく、これからも自分でめあてを立てて行動し、憧れられるように頑張っていきたいです。🎭👁️ 最初はリズムが速く「できないかな」と思っていたけれど、本番でしっかりできてきたのでよかったです。改めて練習は大切だなと思いました。🎭👁️ これからは、行事だけでなく、日常にも、もっといい意識をはたらかせて、頑張ろうという思いをもって、あいさつやボランティア活動を頑張りたいです。👁️🎭 歌は今まで一番心を込めることができました。本番前までは緊張していたけれど、お客さんたちの真剣な眼差しを見て、「忍法開き直りの術」で自分のおもうように全力で歌うことができたのはよかったです。🎭👁️ みんなと歌ったことで繋がり合えたし、今まで一番良い歌が完成したと思います。楽しくやるというめあてでしたが、練習の時以上に本番は笑顔で楽しくできました。🎭👁️ 今まで学年の発表、合唱部の発表・セリフ、委員会の仕事などでとても忙しかったけれど、最後の音楽会に備えて家に帰っても歌詞や音符を読んだり書いたり歌ったりして頑張って、最高の音楽会にすることができました。学年の「楽」の文字を意識して、楽しくリズムに乗って演奏ができました。🎭👁️ 音楽会を通して、音楽に対する気持ちが変わりました。まず、合唱では最初は「心で歌えばいいや」と思っていました。しかし、練習を重ねるに連れ、歌詞を私や人に例えて表現すると、より一層「こんな素敵な歌詞だったんだ!」と思うことができました。例えば「踏まれてもなお伸びる道の草」を「めげてもあきらめないで挑み続ける」と人として考えると、より一層「体でも表現していこう」と気持ちを込めて歌うことができました。

帯山西校区防災訓練がありました

3日(日)に、自治協議会・熊本市による避難所開設訓練がありました。地域の方も100人程参加され、様々な想定避難者を想定し、避難所開設から受け入れまで訓練を行いました。これまでの会議で想定をしていましたので、地域の方の運営でスムーズに訓練が行われました。熊本地震でも、本校での避難は地域の方が、誘導など行われ円滑に運動場での駐車や避難生活ができています。会議の運営もそうですが、地域の自治力の高さにいつも感心し学びがあります。

今回は、災害を学習した4年生を中心に、各学年の子供たちの姿もありました。訓練経験の共有したことが見通しにつながり、実際の災害時にみんなが落ち着いて行動でき避難所の安定した運営につながると考えています。参加してくださった保護者の皆様方、ありがとうございました。



マンホールトイレの設置方法を知る